

社会・地理歴史・公民

1 これからの社会・地理歴史・公民科教育について

社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する。

習得すべき知識、概念の明確化を図るとともに、コンピュータなども活用しながら、地図や統計など各種資料から必要な情報を集めて読み取ること、社会的事象の意味、意義を解釈すること、事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述させることを一層重視する。

我が国の国土や歴史に対する愛情をはぐくみ、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成することを重視する。

2 思考力・判断力・表現力等の育成のための社会・地理歴史・公民科授業について

POINT		
<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">社会・地理歴史・公民科教育の課題</p> <p>知識・技能を活用すること。 主体性をもって社会に積極的に参加し課題を解決していく力を身に付けさせること。</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">言語活動の充実</p> <p>諸事象の意味や意義、事象間の関連などを追究して深く理解し、自分の言葉で表現する学習、及び議論などを通して自分の考え方をまとめたり、説明したり、論述したりする学習を重視すること。</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">課題を探究する力の育成</p> <p>社会的な事象に関する基礎的な知識、概念や技能を確実に習得させ、それらを活用する力や課題を探究する力を育成すること。</p>
授業展開		
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">問題の把握</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">1 問題の把握と課題設定</p> <p>前時までの学習との関連を踏まえ、資料の読み取りなどを通して学習への意欲を喚起しながら、学習課題を設定する。学習を進める上で必要な基礎的・基本的な知識については指導し、理解させる。 児童生徒が追究したくなるような学習課題（主要な発問）を設定する。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">予想と計画</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">2 課題解決のための予想と追究の計画</p> <p>これまでの学習を踏まえ、学習課題解決の予想をさせる。予想内容を整理する（仮説を設定する）。 課題を解決する方法を考えさせる。 課題追究の視点を明確にする。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">課題追究</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">3 課題追究</p> <p>教科書の記述やグラフ、図表、年表等の資料の活用、作業的・体験的な活動を通して課題を追究させる。 調べたことをもとに、書く活動を積極的に取り入れ、既習内容との関連付けをおこなったり、根拠を明確にしたりして、考えをまとめさせる。 他者の考えと関連付けて発表させる。 各自の考えを根拠をもとに発表させる。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">まとめ自己評価</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">4 まとめ</p> <p>学習課題について確認し、課題追究の過程で明らかになったことを総合してまとめさせたり、意思決定させたりする。 調べ、考察し、表現した内容についての自己評価、相互評価などを実施し、成果と課題を明確にする。 新たな課題追究への意欲、次時への見通しをもたせる。</p>	

3 思考力・判断力・表現力等の育成のための授業実践例（学習の流れ）

【小学校 第5学年】

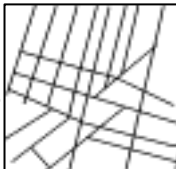
本時の目標 - 地元の中小工場である 工場が売上を伸ばしている理由を、既習事項や資料をもとに考察させる。		
学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
<p>1 問題の把握 これまでの学習から工場での製品の作り方を振り返る。 大工場と中小工場の工場数、従事者数、生産額を把握する。</p> <p>工場について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・流れ作業で大量生産していたことを押さえる。 ・中小工場の方が大工場より工場数や総従事者数は多いが、生産額は少ないことに気付かせる。 ・中小工場であるが、世界各国に輸出し、業界ではトップのシェアであることを知り、その理由を考えようとする意欲を喚起させる。 ・地域の工場を教材化し、児童が直接体験できる場を大切にするとともに、学習意欲を喚起する。 	<p>教</p> <p>「流れ作業」などの基本的な用語は確実に理解させる。</p> <p>教</p> <p>グラフや統計資料の見方を丁寧に指導し、常に確認する。</p>
<p>2 学習課題の設定</p> <p>なぜ、 工場は中小工場なのに業界のトップのシェアがあるのだろう。</p>		
<p>3 課題に対する予想 どんな工夫をしているのか予想し発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学んだ見方・考え方を生かす工夫を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・販売の工夫 ・ニーズの把握 ・優れた技術の維持や開発 ・品質の向上や商品開発の努力 ・海外での生産 ・人員削減 等 	<p>考</p> <p>大工場の様子と比較したり、他の児童の意見と比較・関連付けたりして考えさせる。</p> <p>「思考・判断」 売り上げを伸ばしている理由を、作業の様子や資料、大工場との比較、友達の意見を踏まえ、複数の視点から考察している。 (ノート・行動観察)</p>
<p>4 予想に対する考察 有効点や問題点を考える。</p> <p>ことばの力活用POINT 根拠をもとに考察する。 既習事項と関連付けて考察する。 複数の理由を関連付けて考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工場での機械の組み立て作業の様子(ビデオ)、受注システムや会社についての新聞記事、工場のHPをもとに考えさせ、ノートに記入させる。 ・数名の児童に発表させ交流する。 ・意見を視点ごとの表に簡潔に記入するなど比較・検討しやすい工夫を行う。 ・考えにくい児童には、大工場での生産についてのまとめや友達の意見を参考に促す。 	<p>表</p> <p>友達の意見で参考になったこと、調べてみたいこと及びその理由などポイントを幾つかに絞り記入させる。</p>
<p>5 本時のまとめ 本時の学習の感想や調べてみたいことをノートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に記入させ、数名に発表させる。 ・発表をもとに、どうやって確かめればよいかをなげかけ、工場見学をして調べたいという思いをもたせる。 	
<p>6 次時の予告 工場見学の計画を立てることを知らせる。</p>		

【中学校 第2学年】

<p>本時の目標 - 年貢の仕組みと地租改正の仕組みを比較することを通して、明治政府が富国強兵・殖産興業政策の財源を安定的に確保するため、地租改正を行ったことを考察する。 地租を納めることにした理由を根拠とともにノートに整理する。</p>		
学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
<p>1 問題の把握 地券を見て書かれている内容を読み取る。 地租改正の概要を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 書かれていることを読み聞かせ、現金で税を納めることになったことを把握させる。 	<p>教</p> <p>「地券」、「地租」などの用語は、地券に書かれている内容と関連させて教える。</p>
<p>2 学習課題の設定</p> <p>なぜ、年貢による収入があるのに、年貢をやめ、地租を納めさせることにしたのか。</p>		
<p>3 学習課題の考察</p> <p>資料をもとに年貢をやめ地租にした理由を考察する。</p> <p>ことばの力活用 POINT 比較して考察する。 視点を明確にして考察する。 複数の視点を関連付けて考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 年貢の仕組みと地租改正の仕組みや税収等を、表やグラフから読み取らせ気づいたことを発表させる。 税の基準、税の負担額、歳入、歳出額や推移、納税者、税の使い方、当時の問題点などのポイントから共通点や相違点を整理させる。 支出面に着目させ、明治政府が進めていた他の政策と関連付けて考えさせる。 考えたことをワークシートに書かせる。 考えの出にくい生徒には、相違点から考えさせる。 	<p>考</p> <p>視点を整理し、関連付けて考えさせ、見方・考え方を養う。</p> <p>「思考・判断」 年貢から地租にした理由を、時代背景や明治政府の進めた他の政策と関連付け、複数の視点から考察している。 (ワークシート)</p>
<p>4 考察した結果の発表</p> <p>ことばの力活用 POINT 結論先行で根拠を挙げて発表する。 他者の意見と関連づけて発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発表のポイントを示す。 年貢をやめ地租にした理由 考えた視点 明治政府の他の政策(背景)との関連 友達の意見との共通点や相違点 総合して(関連づけて)考えていくよう指導する。 メモを取らせる。 	<p>表</p> <p>発表のポイントをもとに論理的に表現させる。</p>
<p>5 本時のまとめと自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導者が、意見をもとに地租改正の行われた理由をおさえる。 ノートに本時のまとめを書かせる 評価シートにより、発表の仕方や理解度の評価を行わせる。 	<p>「技能・表現」 地租改正を行った理由について、根拠をもとに記入している。 (ノート)</p>
<p>6 次時の予告</p>		

【高等学校 地理歴史科 地理B】

本時の目標 - 市町村規模の地域を多面的・多角的に調査して，日常の生活圏，行動圏の地域性を地誌的にとらえさせる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
<p>1 学習課題の把握 学校が所在する地域とはどんな地域か考える。</p> <p>学校周辺の地域の特徴的な地理的事象を探す。</p> <p>標高，傾斜，河川，道路，地名，土地利用等に注目して気付いたことをあげる。</p> <p>2 地図を活用した作業 地図作業をして地理的な事象を探る。 【作業の指示例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段彩図を作成する。 ・工場の分布を地図に示す。 ・道路のある位置を取り出す。 ・土地利用図を作成する。 <p>3 地理的事象の読み取り 作業した地図をもとに，規則性や特徴を読み取る。</p> <p>読み取ったことがらを，まとめてわかりやすく説明する。</p> <p>ことばの力活用POINT 地図や各種統計から必要な情報を集めて読み取る。読み取った社会的事象の意味，意義を解釈する。事象の特色や事象間の関連を説明する。</p> <p>4 本時のまとめ 規則性や特徴の理由を考え，ワークシートにまとめる。まとめた結果をグループ内やクラス全体で発表する。</p>	<p>指導上の留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の地形図と過去の地図を配布して，比較させることによって地理的な事象を見付けさせる。 <p>予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の走る方向に規則性がありそうだ。 ・家の集まっているところと集まっていないところがある。 ・工場が集中している。 <p>【作業例】</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・色鉛筆などを用いて特徴的な事象に色を付けたり，印を付けたりさせる。 ・地理的な事象を見付ける方法を身に付けさせるよう，適切な方法を生徒に考えさせる。 <p>予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことがらをできるだけ多くあげさせる。 ・読み取れる規則性や特徴について他の事象と関連させる。 <p>予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の走る方向が北から南が一般的なのに，数本の道は北東から南西方向に走る道がある。 ・家は谷の両側の山麓にあり，南側よりも北側に多く分布している。 ・海沿いには規模の大きな工場が集まり，内陸には中小規模の工場が集まっている。 <p>予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由をあげる際には，既習事項や他の地理的な事象との関連などに留意させる。 ・発表については地図作業で作成した表や図を活用させる。 ・調査を行うためのテーマについて考えさせる。 	<p>評価規準 (評価方法)</p> <p>教</p> <p>地理的な事象を考察する方法や技能の基本を習得させる。</p> <p>「技能・表現」 目的に応じた適切な手法で作業をしているか。(観察)</p> <p>考</p> <p>グラフ化，図式化を利用して地理的な事象の規則性を読み取ったり，複数の事象の関連性を考えさせる。</p> <p>「思考・判断」 地理的事象について分析し，規則性や特徴について他の事象との関連で考えているか。(発表内容)</p> <p>表</p> <p>読み取った規則性や特徴の根拠を示してわかりやすく説明させる。</p>

【高等学校 地理歴史科 日本史B】

本時の目標 - 元禄期は幕藩制社会の転換期であったことを『忠臣蔵』を素材に考察させる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
<p>1 学習内容の振り返り 『忠臣蔵』のストーリーを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料を提示し、『忠臣蔵』のストーリーを追い、大石内蔵助をはじめ赤穂浪士の処分について幕府で議論があったことを説明する。 綱吉の政治の特徴を考察させる 	<p>教</p> <p>武家諸法度(元和令,天和令)を比較させるなど幕府の政策の変化に気付かせ、時代の変化を押さえる。</p>
<p>2 時代背景の確認 「赤穂浪士」の事件の舞台となった時代はどんな時代だったか整理する。 当時の将軍綱吉の政治の特徴を整理する。 綱吉の政治の大きな目的を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「生類憐みの令」、湯島聖堂の大学頭に林信篤を任じる、「武家諸法度」の変更など実施した施策の目的から『文治主義』を押さえる。 	<p>考</p> <p>様々な立場の人から判決文を書かせたり、学習活動を工夫し、意見とその背景となる考え方のつながりを考えさせる。</p>
<p>3 問題の確認 なぜ、大石をはじめ「赤穂浪士」の処分が問題となったか確認する。 世論(江戸町人)の動向をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 仇討ちをしない赤穂浪士を「阿呆浪士」とよんで蔑んでいたこと、世論の期待に応える形で討ち入りを果たした赤穂浪士を江戸町人は絶賛し、その助命を願ったことを確認させる。 	<p>「思考・判断」 町人の意見や有識者の意見をもとに判決文を作成しているか。(行動観察)</p>
<p>4 判決文をまとめる 元禄時代の様々な状況を考慮して、厳罰すべしという立場と助命すべきという立場から判決文を書く。(グループ) 有識者の意見や庶民の反応を参考にして根拠をあげて説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 林信篤や室鳩巢らの儒教的徳治主義的な立場と荻生徂徠や太宰春台らの法治主義的な立場を提示して意見をまとめる参考にさせる。 <p>ことばの力活用POINT 「赤穂浪士」の判決について、議論などを通して自分の考え方をまとめたり、説明したり、論述したりする。</p>	<p>「表現」 「文治主義」と判決の関連が説明できたか。(行動観察, ワークシート)</p>
<p>5 判決文の根拠の考察 なぜ、このような判決になったのかについて考える。 判決の内容を確認する。 幕府の判決に理由をつけて説明する。 (ワークシートへの記入)</p>	<p>【判決内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤穂の浪士には全員切腹を命じ、吉良家には改易(取潰し)の処分を下したことを示す。 幕府の出した判決の理由について分析をさせ、その根拠を予想させワークシートに記入させる。 	<p>表</p> <p>幕府の出した判決について、既習事項と関連付けて、わかりやすく説明させる。</p>
<p>ワークシート記入例</p> <p>法治主義を全面に押し出しつつも、忠義の心情を考慮して、打首ではなく、武士としての体面を保たせる「切腹」を命じた。さらに江戸町人の浪士への同情を鎮めるため吉良家を改易し、結果として「喧嘩両成敗」の裁定を下した。</p>		
<p>6 本時のまとめ 本時で扱った内容について、確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 判決と『文治主義』の考え方の関連を説明する。 	

【高等学校 公民科 政治・経済】

本時の目標 - 農業の自由化を進める考え方と農業を保護する考え方を対照させ、今後の我が国の農業と食料の問題の望ましい解決の在り方について考察する。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)									
<p>1 問題の把握 我が国の食料自給率をめぐる状況を様々な資料から把握する。 我が国の食料自給率が低い理由を確認する。</p> <p>2 学習課題の設定 「今後の我が国の農業の在り方について考察する」ことを確認する。</p> <p>3 二つの考え方の確認 我が国の農業の在り方についてどのような考え方があるかを発表する。</p> <p>4 二つの考え方の評価 農業の自由化を進める考え方と農業を保護する考え方を様々な立場から評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 食料自給率の国際比較，食品別の自給率，自給率の経年変化などから，食料自給率をめぐる状況を多面的に考察させる。 次のような日本農業をめぐる課題を整理し説明する。 農業の生産性の低さ，農産物の内外価格差，食料生活の変化等 食料生産の効率化と食料の安定供給の視点から検討しなければならない課題であることに気付かせる。 日本農業の在り方については，次の対照となる二つ考え方があることに気付かせる。 「農業における生産，流通，貿易を自由化する考え方」 「農業を保護するための様々な規制を設ける考え方」 「日本農家」「消費者」といった具体的な立場からそれぞれの考え方を多角的に考察させる。 <p>【表】</p> <table border="1" data-bbox="630 1294 1086 1400"> <thead> <tr> <th></th> <th>「自由化」</th> <th>「保護」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メリット</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>デメリット</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		「自由化」	「保護」	メリット			デメリット			<p>教</p> <p>既習の政治や経済についての見方や考え方を活用して，食料自給率が低い理由について説明する。</p> <p>考</p> <p>二つの考え方のメリット・デメリットを評価できるように下の表を完成させて，考察を深めさせる。</p> <p>「思考・判断」 具体的な立場から今後の我が国の農業の在り方について多角的に考察している。 (ワークシート)</p>
	「自由化」	「保護」									
メリット											
デメリット											
<p>5 意思決定 今後の我が国の農業の在り方について，様々な立場を踏まえて公正に判断する。</p> <p>ことばの力活用 POINT 対立する二つの考え方を踏まえて，自分の考えをまとめて相互に発表することで，自らの考えを深めさせる。</p> <p>6 本時のまとめ 本時で扱った内容について，確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 努力を必要とする生徒には，「自由化」の考え方と「保護」の考え方を参考に，自らの考え方をまとめさせるよう指導する。 「食糧安全保障」の視点や「農家の経営の安定化」の視点など，具体的な視点から考えて発表させる。 他の生徒の発表を参考して，望ましい解決の在り方についてさらに吟味させる。 	<p>「思考・判断」 今後の日本の農業の在り方について，「自由化」の考え方と「保護」の考え方を踏まえて，公正に判断している。(ワークシート)</p> <p>表</p> <p>考察した過程や結果を分かりやすく発表させる。</p>									